

# 市民フォト鹿児島

itizen  
Photo  
Magazine

No. **43** 平成3年1月1日発行

「犬も歩けば、棒にあたる」と読み上げると同時に、「はい」と元気のいい声。

部屋の中でのかるたとりや福笑い、また戸外へ出での、凧あげやこま回しなどに興じる子供たち。正月にはやはり、そんな光景がよく似合う。

(人物は、左から西紫原小の末吉陽子さん、ミス鹿児島の岩坪佐和子さん、桜丘東小の小宮路浩章くん)

## ●特集 マイアミ市と姉妹都市に





わがまち



高度

350m



C  
O  
N  
T  
E  
N  
T  
S

わがまち高度350m

わがまち高度350m P2

### 特集/マイアミ市と姉妹都市に P3~9

クローズアップ (原田真雄さん) P10~11

学校探訪 (名山小学校) P12~14

ふるさとの史跡 (やさしく笑みをたたえた寺山観音) P15

集えば楽し (鹿児島女子アイスホッケークラブ) P16~17

市民のひろば (マイアミ市が新しく姉妹都市に) P18~20

ハロー鹿児島 (金嶺鍾さん) P21

あなたのフォトサロン (秋の木市) P22~23

おはら祭 P24~25

わたしの散歩道 P26~27

カメラトビックス P28~29

📷 ウォッチング P30

市立美術館 (富士「吉田より」) P31

### 『錦江湾上空から』

波静かな錦江湾上空から鹿児島本港、市街地を望む。

鹿児島本港からは、現在、大隅半島と結ぶ桜島町営フェリーのほか、種子島、屋久島、三島、十島、喜界島などへの航路が開設されている。

昨年3月まとめられたポートルネッサンス21計画調査の最終報告書の中で、鹿児島港本港区における旅客ターミナル等の港湾施設や海洋文化交流施設、物産品等展示販売施設、ホテル、フィッシャーマンスワープ、イベント広場などの整備が提案されているが、将来、これらの施設が完成すれば、地域の活性化に大きく貢献するものと期待される。

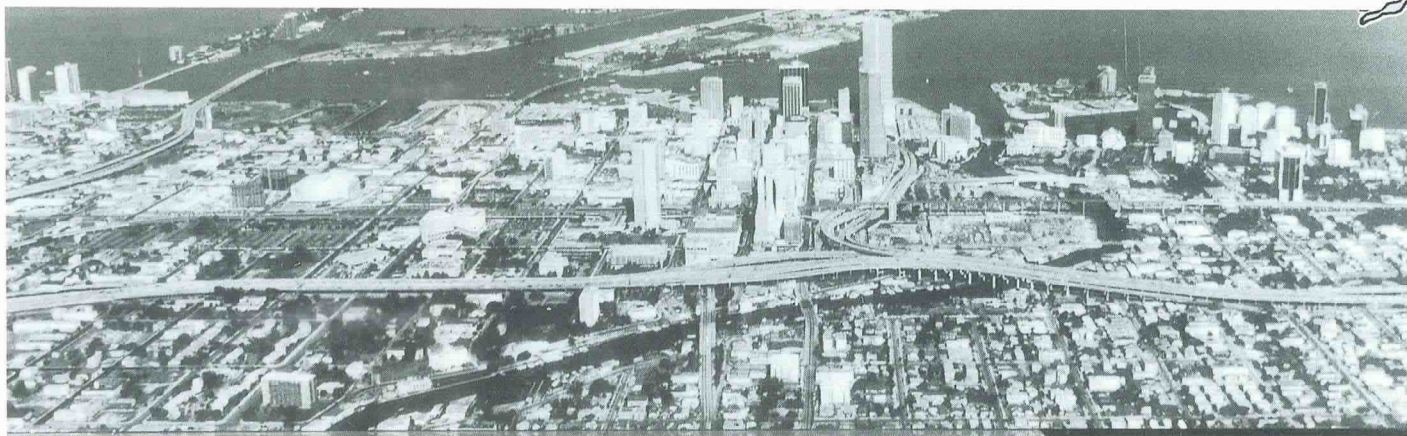


# 特集

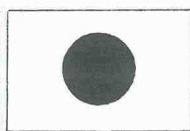
## マイアミ市と 姉妹都市に!

フロリダ半島

マイアミ市



### MIAMICITY & KAGOSHIMA CITY



アメリカの南のゲートウェイ都市マイアミ市と、アジア諸国へのゲートウェイとしての役割を担う鹿児島市。そのほか数多くの共通点を持つ両市が、昨年11月1日、めでたく姉妹都市の盟約を結びました。





# 将来への発展と飛躍を期して



## 鹿児島市とマイアミ市姉妹都市盟約を締結

平成二年十一月二日、鹿児島市はアメリカ合衆国マイアミ市と姉妹都市盟約を締結しました。  
調印式では、赤崎義則鹿児島市長とミラー・ドーキンス、マイアミ市副市長が盟約書に署名しがっちりと握手、末永い友好と親善を誓い合いました。  
ここにナポリ市（イタリア）、パース市（オーストラリア）、長沙市（中国）に次ぐ四番目の姉妹・友好都市が誕生しました。



市旗交換



記念品としてマイアミ市街地の写真パネルが贈られる



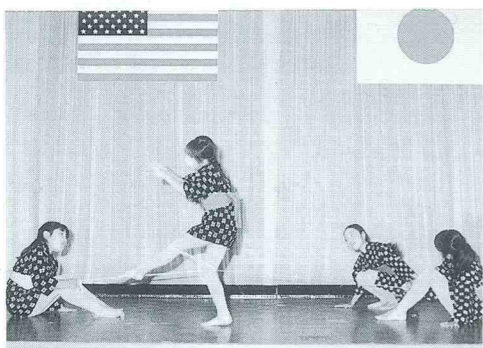
盟約書にサインするミラー・ドーキンス副市長と赤崎市長



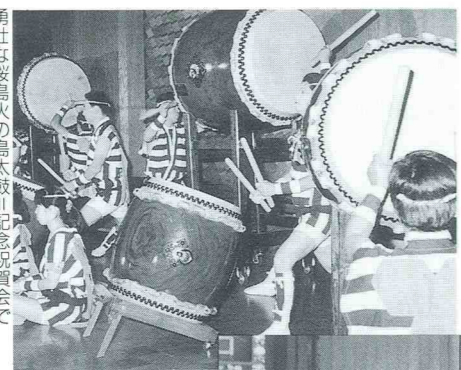
調印式後の記者会見



署名後、がっちりと握手



かわいらしい踊りで歓迎＝記念祝賀会で



勇壮な校舎火の島太鼓II記念祝賀会で



祝辞を述べるアルバート・ポール駐日アメリカ合衆国大使代理



花束で歓迎＝記念祝賀会で



調印式後のアトラクションで美しいハーモニーを披露した市立少年合唱隊



出迎えを受けるマイアミ市使節団＝鹿児島空港で



姉妹都市盟約書

### ◎調印式あいさつから

両市はもとより  
日米親善にも貢献したい  
赤崎義則鹿児島市長

このたび姉妹都市盟約を締結できましたことは、このうえない喜びです。

この盟約をきずなにより、永久に変わらぬ深い友情を基盤にして、幅広い交流の輪をひろげていきたいと思います。

そしてまた、両市の限らない発展はもとより、日米両国の親善にも貢献していきたいと考えます。マイアミ市の限らないご繁栄と両市民の末永い幸福を祈念いたします。



交流を若い世代へ  
つなげたい

ミラー・ドーキンス  
マイアミ市副市長

この盟約締結により、これから正式に姉妹都市としての友好を深めていくこととなります。

鹿児島市とマイアミ市は、海に開かれた拠点都市であること、また、温暖な気候で豊かな自然に恵まれていることなど、いろいろな面がよく似ています。

今後、相互に教育、文化、産業、経済などの各分野において交流を促進していき、そしてそれを未来を背負っていく若い世代へつなげていきたいと思います。



# 鹿児島島の秋を満喫!

マイアミ市使節団一行は、滞在期間中、市内視察、おはら祭参加など、鹿児島島の秋を楽しみながら市民との交流を深めました。



「桜島を背に、ハイポーズ!」

暖かい心の交流が・・・

〔十一月一日(木) 曇り〕  
午後からの調印式を前に、市内のデパートで開催中のフロリダ・マイアミフェアを見学。  
マイアミ市の写真パネル展や商品販売の様子を見ながら、お国自慢をひとしきり。買物客へもしっかりPRを忘れない使節団一行でした。

〔十一月二日(金) 晴れ〕  
秋晴れの素晴らしい天気の中、この日は一日市内視察。

◎桜島にて  
桜島へのフェリー上では、錦江湾に浮かぶ雄大な桜島に歓声。有村溶岩遊歩道では、歩道上の灰に「これは何?」。火山灰ということを知るとびつくり。展望台から見る活火山の迫力には、ただ感服といった様子でした。

◎磯庭園では  
磯庭園では、日本の庭園美と薩摩の殿様の住居に感心した様子でしたが、日本のお茶には恐る恐る口をつけ、???といった顔。  
日本の伝統文化を、味わっていただけただけではなかったでしょうか。



踊れば楽し。おはら祭で大フィーバー

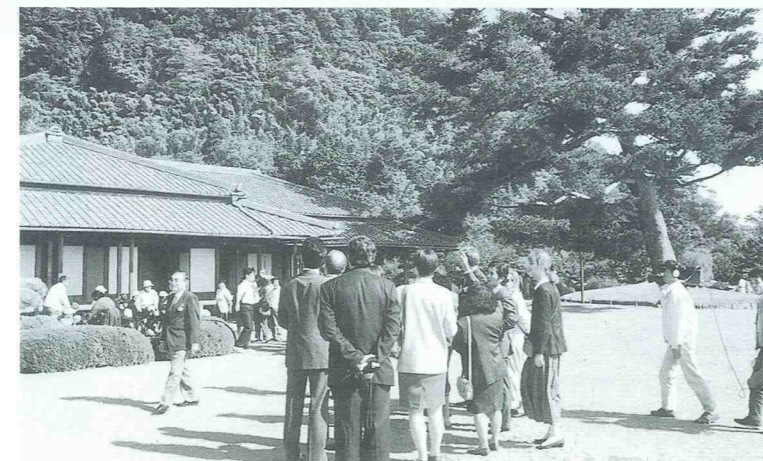
◎マイアミトラムカーでは  
市交通局が姉妹都市盟約を祝って運行したマイアミトラムカーに乗り込んだ一行は、珍しい二両連接の花電車と車窓から流れる市内の景色に感激。乗り合わせた乗客にバッジをプレゼントしたり、話しかけたりと、和やかな雰囲気の中、市民との交流を深めていました。「アイ・ラブ・カゴシマ!」陽気な一行の周りには、明るい笑い声がたえませんでした。

◎平川動物公園へ  
かわいい幼稚園・保育園児の歓迎の迎えを受けて、一行は大感激。子供たちの輪の中に入り、握手をしたり、記念撮影をしたりと楽しそうにコミュニケーション。  
また、園内では、ひょうきんなゴリラ君の歓迎のパフォーマンスに大爆笑する一幕もありました。  
◎本場大島紬の里では  
鹿児島島の伝統工芸品・大島紬の工程に興味深そうに見入っていた一行。なかでも女性陣は、着物の美しさに「オー・ビュ・ティフル!」お土産にプレゼントにと、財布のひもも緩みがちでした。

〔十一月三日(土) 曇り〕  
おはら祭に参加。二万人の踊り連と約五十万人の観客の歓迎の渦のなか、にわか仕込みとは思えない手振りでヨイサー・ヨイヤサー。終始笑顔をやさず一生懸命踊る一行に、市民の声援が送られ、暖かい心の交流の輪が大きく花開きました。



7 歓迎のマーチが澄んだ秋空にこだまする



磯庭園にて、薩摩の秋の旅情を満喫



「このチョコレート、マイアミより安いじゃない?」



言葉は通じなくても、笑顔は世界の共通語



「ぼくたち、大きくなったらマイアミ市に遊びに行きまーす」



お茶を飲む手つきも中々堂にいったもの

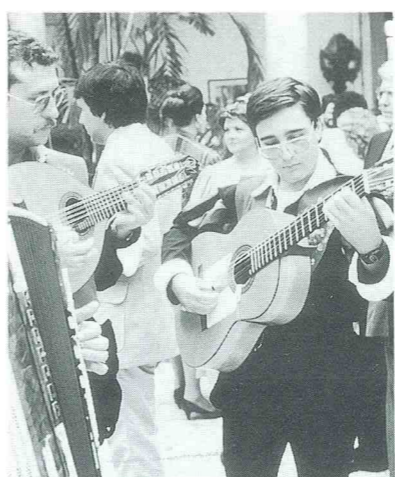


# マイアミ市って



## こんなまち!

アメリカ合衆国フロリダ州の南東部に位置し、アメリカにおける「中南米・ヨーロッパへの玄関」として発展しているマイアミ市。ビスケーン湾からは豪華なクルーズ船が穏やかなカリブ海に出航し、ハイビスカスやブーゲンビリアなどの熱帯植物が咲き乱れる街角からはスペインの音楽が流れ、ラテンの国を訪れたような気分になる、そんなマイアミ市の姿を紹介しします。



フェスティバルで音楽を楽しむ陽気なマイアミの人々



ビスケーン湾沿いに発展を続けるマイアミ市のダウンタウン



大晦日の夜に行われるオレンジボール・フェスティバルのパレード



豪華客船でにぎわうマイアミ港



マイアミマリン競技場でのハイドロプレーンレース



バイサイドマーケットから見るダウンタウン



市民や観光客の憩いの場  
バイサイドマーケット

### 【誕生】

フロリダは十六世紀にスペイン領、十九世紀にアメリカ領になりましたが、マイアミ市が歴史の表舞台に登場するのは、ほんの百年ほど前のことです。

マイアミの母といわれるジュリア・タトルという女性が、一八九四年、大冷害のあった年に鉄道王ヘンリー・フラグラールにオレンジの花を送り、マイアミは冬でも果物や野菜を栽培できることを説明し、鉄道が開通しました。このときから、住宅地、農業地として発展を始め、一八九六年に人口千五百人のマイアミ市が誕生しました。

### 【コンベンションと観光】

市街地再開発やコンベンションホールの建設が進められ、コンベンションに欠かせない宿泊施設や経験豊かな人的資源もそろっており、アメリカでも有数のコンベンションシティといわれています。

また、亜熱帯気候の観光都市として知られ、太陽との楽しみを求めて、年間約千百万人の観光客が訪れます。

### 【文化】

ルーベンス、レンブラントなど

の作品を集めたバース美術館、ルネッサンス風博物館のビスカヤ宮殿、熱帯植物園、水族館、科学・歴史博物館などの施設が整い、美術館やマイアミの歴史・自然に親しむことができます。

また、全米屈指のグレート・マイアミ・オペラ協会やマイアミ・シティ・バレエなどの公演、マイアミ映画祭など、多彩な文化にふれることができます。

### 【都市開発とビジネス】

ビスケーン湾に面して、官庁・企業・商店街が集中するダウンタウン地区が開発され、著名な建築家の設計による高層ビルが林立しています。

また、南米やカリブ海諸国への玄関口であり、南北アメリカとヨーロッパを結ぶ中間に位置する地理的条件の良さが百七十社以上の国際企業や多数の外国銀行の進出をもたらし、コロンビア第二の金融都市と呼ばれています。

### 【ウォーターフロント開発】

美しいビスケーン湾を望むベイサイドマーケット（地場産品の小売店と飲食店の街）とベイフロント公園（野外劇場付設）が建設さ

### 【空港と港湾】

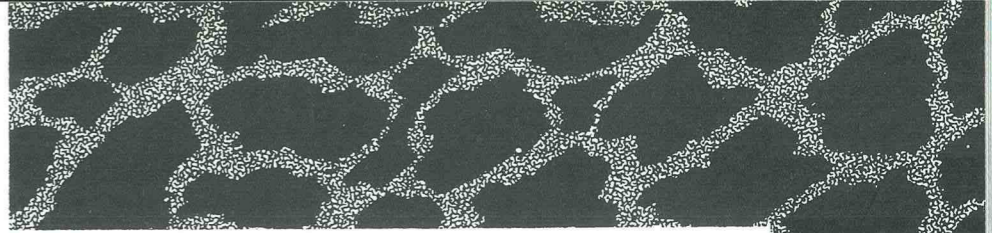
マイアミ国際空港からは、南米七十八都市とヨーロッパの十二都市への直行便があり、国際旅客数では全米第二位の国際的な玄関となつています。

市街地から至近距離にあるマイアミ港は国際貿易港として八十五カ国二百の港に通じており、カリブ海を周遊するクルーズ船の母港としても賑わっています。

### マイアミ市一〇メモ

市の誕生	1896年
人口	383,000人(1990年4月)
面積	87km <sup>2</sup>
位置	北緯26度 西経80度
気候	亜熱帯性気候
年平均気温	24℃
産業	観光、コンベンション、金融、貿易 など





# くろ アズ アズ

記録への挑戦は自分との闘い、  
自分の限界への挑戦でした。

●前の年の失敗を乗り越え、自らのもつ  
連風(れんだこ)の世界記録を大きく更新

原田 貞雄 さん

真つ青な空高く、吸い込まれそ  
うにゆれる連風(れんだこ)。見  
込めるものが欲しくて始めた」と  
連風に取り付けられるようになった  
動機を振り返って話される。

小さいときからものを作ること  
や理数的なことが好きだったこと  
もあり、風への創作意欲は次々わ  
いてきた。例えば風本体。軽く強  
いことが基本。大きさは風を良く  
受けて揚がることを考えれば大き  
いほど良いが、引つ張る力が強



い。数のことを考えると小さいほ  
うが有利だが、これも度が過ぎる  
と揚がりにくいそうで、接点をど  
こにするかに苦心したとか。そし  
て今回の世界記録挑戦に使った風  
はスーパーで売っている一番薄い  
ポリ袋を材料にした。大きさは十  
二×十八センチ、十×十五センチ、二十×  
三十センチのダイヤ形三種類。骨は、  
市販のひごでは、太過ぎて使えず  
手作りに、それも直径〇・一ミリ  
の差にこだわった」という具合だ。

次に糸。これも軽くて強くない  
とダメ。経験を生かし、またテス  
トしたりして、釣糸とケブラーと  
いう化繊に落ち着いた。  
「風は見ているぶんには単に子  
供の遊びのように思われますが、  
それだけではないんです。良い記

録を出すには力学の理論とそれを  
基にしたいろいろな計算、そして  
技術が必要です」。  
そうした理論と技術の裏付けは  
あっても問題は当日の風。「二年  
間にわたる現場での経験や気象図  
解析でゴーサインをだしたけれど  
不安もありました。でも都合の良い  
ことに降ろすときに風が弱く

なってくれました。天の助けでし  
た」とおっしゃるが、自信あつて  
の謙そんとお見受けした。  
もう一つ大事なものは、協力する  
十数名の協力者である。「風なら  
一人で作り、一人で揚げ、人に迷  
惑をかけずにすむから」と考えて  
始めたそうだが、「前日の夕方決  
めて、電話一つで自分の仕事を放  
り出してかけつけてくれる人たち  
のおかげです」と原田さんは言う。

「連風の記録への挑戦は自分と  
の闘い、自分の限界に挑戦するも  
のでした」。これも手作りだとい  
うテーパーで、数々のトロフィー  
を背に風とのかかわりを語る原田  
さんの目は、何かを深く追い求め  
るかに輝いていた。

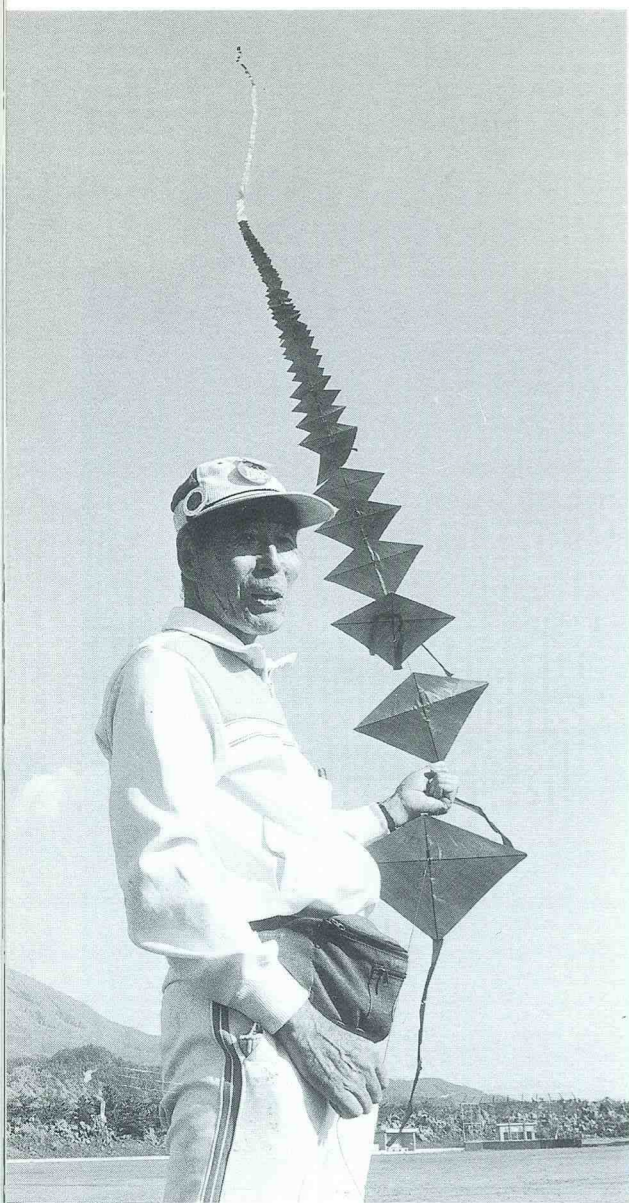
文/内村昭紀 鹿児島新報記者

読売新聞社提供

PROFILE

鹿児島市出身。昭和十二年、鹿  
児島師範学校を卒業後教員となり、  
昭和五十一年まで県内の小・中学  
校(最後は富隈小学校校長)で教  
べんを執る。その後、鹿児島郡吉  
田町の教育長の要職を務め、昭和  
五十五年退職。

風づくりのほか、囲碁、釣り、  
盆栽と趣味は多彩。  
現在、武三丁目自宅に奥さん  
と二人暮らし。七十三歳。





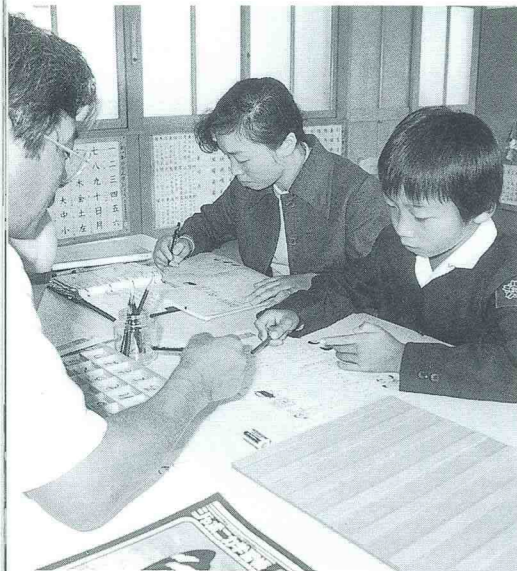
# 学校探訪



“早く/早く!” ~秋季大運動会



早朝の出発でも元気! ~妙円寺遠行~



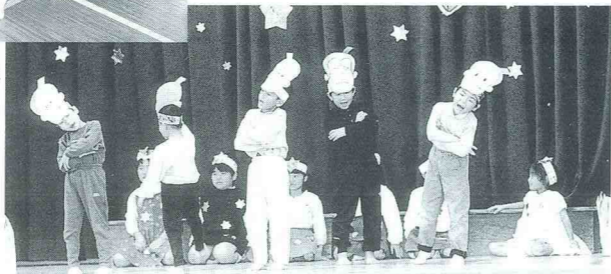
おかあさんもいっしょに勉強 ~日本語教室



仲よくがんばりましょう  
~日本語教室の開級式



“ちょっと息がきれるなあ” ~城山登山

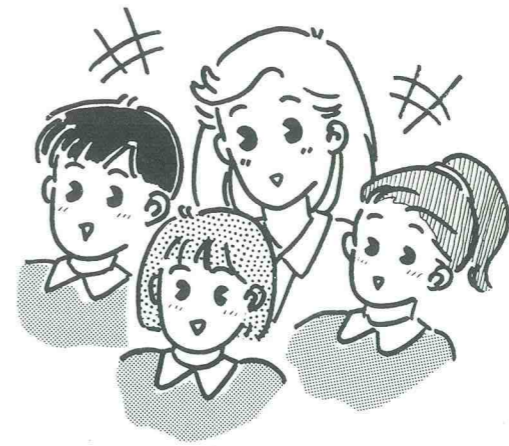


1年2組のオペレッタ ~学習発表会

ば、城山の自然を調べる「城山探検」、郷土に親しむ「史跡めぐり」心身をきたえる「開校記念城山登山競走」、文化施設で学ぶ「チャレンジ学習」などは、名山小ならではの行事です。

ぼくたちの学校は、青少年赤十字加盟校であり、ボランティア協力校でもあります。生命を大切に「健康・安全」、協力・助け合いをすすめる「奉仕」、世界の人々と仲よくする「国際親善」を実践目標にして、学校や公共施設の清掃、赤い羽根街頭共同募金活動への参加、福祉施設訪問などのボランティア・サービズ活動にも努力しています。日本語教室に通学する外国からのお友だちとの交流活動も名山小の特色の一つだと思います。

ぼくたちは、名山小の伝統を生かしながら、「世界の子どもみんな友だち」を合言葉に、世界の中の名山小の子どもになりたいと思っています。



# 名山小学校

●創立…明治11年  
●児童数…324人  
(平成2年12月1日現在)



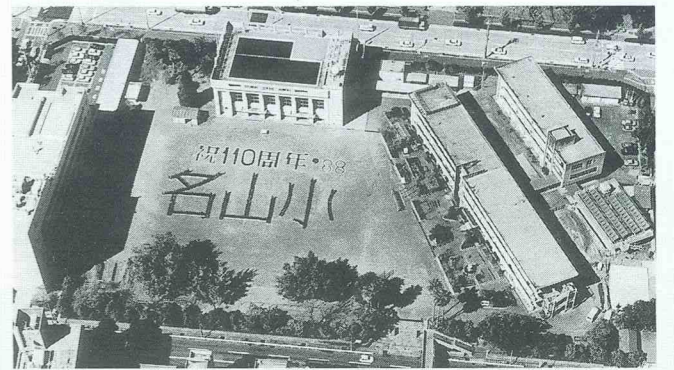
## ぼくたちの学校

六年 岩元 健一

名山小は、明治十一年に創立され、ことし百十二歳になります。校区には、自然林に包まれた緑の城山の麓に、県庁をはじめ、市役所などの官庁街と、黎明館、図書館、美術館、博物館などの文化施設や数々の史跡が集まっている文化ゾーンがあります。

ぼくたちは、豊かな自然と近代的ビルに囲まれ、古い文化と新しい文化が調和した地域で生活しています。

学校には、校区の特徴を生かした楽しい行事があります。たとえ



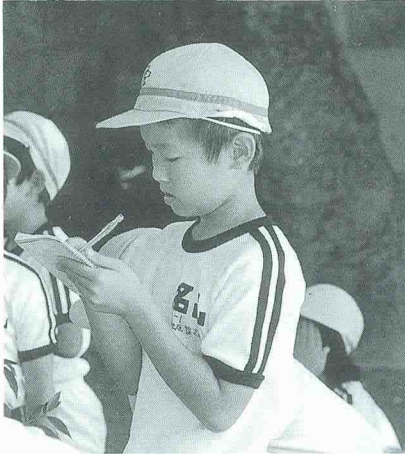




研究会も多く開かれる ～九州地区小学校道徳教育研究会



世界の中の名山小を確認 ～先生手作りの地球儀



上級生の説明はしっかりメモに  
～城山探検



アメリカの小学生の生活を寸劇で  
～メロニーさんとの交流会



収穫の喜びはひとしお  
～いも掘り



# 史跡

やさしく笑みをたたえた

## 寺山観音

市文化財審議会委員

木原 三郎

寺山観音は茂頭<sup>もつ</sup>観音とも呼ばれ、五ヶ別府町茂頭の寺山の中腹にある。高さ一・二メートル、幅二メートルの岩石に深い浮き彫りの観音像である。頭に宝冠を戴き、身体には天衣をまとい、耳飾りや胸飾りをつけ、左手につぼみの蓮華<sup>れんげ</sup>を持った豊満で姿の美しい座像である。伊集院の雪窓院<sup>せつそういん</sup>（島津十六代義久、十七代義弘の母の菩提寺）の住職伊東稔法和尚の子、祐義がこの地に寺を開山し、以来この地を寺山と呼ぶようになったという。雪窓院は曹洞宗の寺で聖観

音を本尊としていたので、この観音もこのころのものと思われる。この観音から程近い寺山の一角に、享保十四年（一七二九）酉年中開山、山神、伊東祐義と刻銘の山神がある。寺を開山するにあたり、先ず山を切りひらき山神を祀り、そのあと観音像を安置したのもと思われる。

ある老母が夢の中で、白粉<sup>おしろい</sup>をつけた観音様が枕元に立って、「石を起こしてくれ」と頼まれたので、後ろの山の大きな石を起こしたら、こんな大きな観音様が現れたと伝えられている。土地の人たちは毎年六月十七日、六月灯を行い丁寧に供養している。



寺山観音入り口



寺山観音像



観音像は、五ヶ別府町茂頭の寺山の中腹にある





氷上でのスピード感が  
たまらない

鹿児島女子アイスホッケークラブ

「鹿児島にもクラブチームがあるんですか」と驚く人が多いアイスホッケー。昭和五十九年に発足していま七年目の、県内唯一の女子のクラブです。

「氷上でのスピード感、シュートしたときのそう快感。そして、ゴールしたときは、何ともいえない気分ですね。」とキャプテンの荒原いくよさんは話します。

試合は、フォワード三人、ディフェンス二人、ゴールキーパー一人の計六人が最低必要ですが、いまメンバーは十一人。

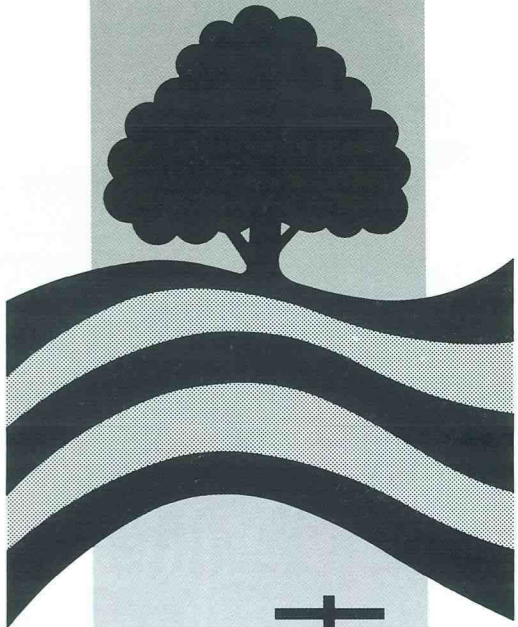
主婦、OL、教師、学生、高校生というバラエティーに富んだメンバーですが、「もっとメンバーが増えて、チーム内で練習試合ができるようになればいいんですが。初心者大歓迎です。防具を付けていますから、ころんでも痛くないですよ。」と、メンバー募集にも一生懸命です。

練習は隔週の日曜日で、一時間くらい。米倉稔監督の指導のもと、集中的にこなしています。

昨年は熊本、宮崎のチームと練習試合を行いました。が、「成績はヒミツ!」とのこと。

激しい競技ですが、明るく、健康的で、チームワーク抜群のみなさんでした。





# 市民の ひろば



「市民のひろば」はMBCから放送されます。  
放送日時：毎月第三日曜日を除く日曜日の  
午前八時から十五分間。ただし、第四日曜日  
は三十分間放送。  
(この番組は、平成二年十一月二十五日に放  
映したものです。)

## 出演者 (敬称略)

- 井形昭弘 鹿児島大学 学長
- 中澤 浩 鹿児島青年会議所 推進室長
- 楠元健司 声楽家
- 浜田節子 ホームステイ体験の主婦
- 西吉リサ 鶴丸高校二年生
- 赤崎義則 鹿児島市長
- 上野知子 アナウンサー

### 『マイアミ市が姉妹都市に!』

十一月一日、鹿児島市はアメリカのフロリダ州のマイアミ市と姉妹都市盟約を結びました。姉妹都市交流を通じた、これからの国際化・国際交流について、市長がゲストと語り合います。

### ●マイアミ市が新しく姉妹都市に

上野 十一月一日、鹿児島市はアメリカのフロリダ州、マイアミ市と姉妹都市盟約を結びました。今日は、この盟約を記念して、国際交流についてゲストの皆さん

と考えていきたいと思っています。市長さん、めでたくマイアミ市との姉妹盟約を締結された、感想はいかがですか。  
市長 今回の姉妹都市盟約で、鹿児島市は四つの姉妹・友好都市を持つことになりました。欧州大陸のナポリ市、大洋州大陸のパース市、それからアジア大

陸の長沙市と三つありました。今度に残るアメリカ大陸のマイアミ市と姉妹盟約を結ぶことができまして、わたしも大変うれしく思っています。  
マイアミ市は、本市といろいろな点で似ているところがありますし、これから鹿児島が求めている、また発展する方向をすでに持っていますから、ある意味では姉妹都市であると同時に、今後のまちづくりの先生として非常に期待しています。  
上野 井形さんは、アメリカ姉妹

陸の長沙市と三つありました。今度に残るアメリカ大陸のマイアミ市と姉妹盟約を結ぶことができまして、わたしも大変うれしく思っています。  
マイアミ市は、本市といろいろな点で似ているところがありますし、これから鹿児島が求めている、また発展する方向をすでに持っていますから、ある意味では姉妹都市であると同時に、今後のまちづくりの先生として非常に期待しています。  
上野 井形さんは、アメリカ姉妹



井形学長

都市盟約懇話会の会長として、これまで経過を振り返ってみて、どんなお気持ちでしょうか。  
井形 市長さんが言われましたように、いまだ鹿児島市には三つの姉妹・友好都市がありました。が、アメリカには持っていないかわけですね。  
ですから、鹿児島市と共通点があり、なおかつ、いろんな交流が市民レベルでできるところを探していたのです。

懇話会では、最初から全会一致と言いますが、市民各層からの出席の方が、姉妹都市はぜひマイアミ市にしたいという意見で、問題なく決まりました。やはり市民の気持ちを代弁しているのではと思います。この度の姉妹盟約締結は、非常にうれしいですね。

●すばらしいまち、マイアミ市  
上野 わたしも、マイアミ市は本当にすばらしいまちだと思います。中澤さんは、どのような印象を

お持ちですか。

中澤 豪華客船がたくさん就航する国際観光都市、あるいはウォーターフロント先進地というイメージです。我々のためには、本当に良いところと姉妹盟約ができたなあと思っています。

上野 西吉さんは、行ってみたいと思いませんか。  
西吉 はい、ぜひ行ってみたいと思います。世界で一番夕日がきれいなところと聞いていますから。

上野 浜田さんは、これまで五カ国から十回ほどホームステイで、外国の方を受け入れているということですね。マイアミに行きたいと思いませんか。  
浜田 そうですね。とてもきれいなまち並みだと聞いていますし、一度は訪ねてみたいまちです。すばらしい出会いの機会がつけられたらいいですね。

上野 楠元さんは、イタリアのミラノに九年ほどいらしたということですが、マイアミ市は、いかが



赤崎市長

しまして、おはら祭やいろいろな交流を通して鹿児島市を良く知っていただいていたと思います。

調印式はとても厳粛で、そしてその後の祝賀会は、大変和やかな雰囲気が漂っていました。  
市長 そうでしたかね。四百人ほどの市民の皆さんに出席をいただき、各界・各層の方々も心からお祝いをし、大変盛大だったと思います。何と言っても、アメリカの方は

でしょうか。

楠元 とつともきれいなまちですね。わたしもぜひ、行ってみたいと思います。

●市民とふれあいを深めた、マイアミ市親善使節団一行  
上野 ところで、姉妹都市盟約には、マイアミ市からミラー・ドーキンス副市長ら一行十五人が鹿児島市を訪れました。

調印式をはじめと

国際性が高く、話題が豊富ですし

世界一の国際人だなと思いませんか。ミラー・ドーキンス副市長は「鹿児島の西郷さんに似ていますよ」と言われて、わざわざ上野の西郷銅像を見て、イメージをしっかりとつかんできておられました。本当に良く似ていますよ！  
そして、おはら祭では、朝三十分の練習しかできなかったのですがみなさん、上手に踊っていましたね。

上野 井形さんは、姉妹都市盟約の調印の様様をご覧になっていかがでしたか。  
井形 まず、調印式は非常に厳粛で、市長さんが外務大臣でちょうど、アメリカとの日米友好条約をこの鹿児島の地で締結したような印象を持ちました。

決して、市の方ばかりではなく、経済界、各界の代表の方がお見えでしたね。  
マイアミの人たちを介して、マイアミ市を理解し、アメリカを理解し、そして世界を理解するという、そういう第一歩になったと思います。

●ミラー・ドーキンス副市長にインタビュー  
鹿児島は、とてもきれいなところで、市民の皆さんもとても温

かい人たちだと思っています。

これからは、もちろんわたしたちもですが、マイアミの若い人たちと鹿児島市の若い人たちが交流し、近づくこと。マスメディアを使ったり、お互いに国際空港を持つていきますから、若い世代を中心とした、これからの時代をつくっていくことだと思っています。  
.....



浜田さん

### ●姉妹都市盟約は国際交流の窓口

上野 さて、今回の姉妹都市盟約を記念して、鹿児島市ではマイアミトラムカーを走らせるなど、市民の皆さんとマイアミの方とのふれあいも深まり、また平川動物公園では幼稚園児の大歓迎も受けました。わたしも取材をしていまして、本当に仲良くできるのだという、実感を持ちました。  
市長さん、これからの交流はどのように進めていきたいとお考えですか。



市長 副市長さんとわたしの間で

いろいろと協議をしましたが、これからはスポーツなどを通じて若

人たちの交流をしていこう。それから、やっぱり経済交流、文化交流、そして大学同士の学術の交流を進めていこうと話し合いをしました。

特に、これから鹿児島市が伸びていく方向は、ウォーターフロントの活用をしたまちの発展可能性を探っていかなければなりません。そういう意味では、世界の先進都市と言われるマイアミ市からいろいろなことを教えていただいで、まちづくりを進めていきたいと思っております。

現在本市は、国際交流係を設けたり、国際交流アドバイザーの採用などさまざまな事業に一生懸命です。また、国際交流基金を創設し、その利息で民間の方々を中心に、これからの国際交流を運営していただこうと考えています。早速、今日のゲストの西吉さんには、青少年の翼でパース市に行っていたきました。

これからは鹿児島市でいろいろな国際交流の輪が広がることでしょう。

上野 井形さんは、都市間の交流というものをたくさん見ていらっ

しゃると思いますが、これからの展開についてはどのようにお考えですか。

井形 お互いに世界中の人々が理解し合い、交流し合う。例えば、ある都市に自分の知った人がいると、その地には懐かしさを感じる気持ちになるでしょう。

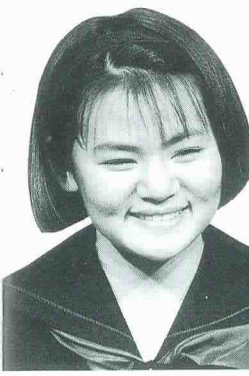
それが、姉妹都市という関係になりますと、市民一人ひとりが小さな外交官と言いますか。

こうした交流に、文化、学術、経済などが密接に関係してくることで、日本とアメリカの友好関係にも大いに貢献してくるのではと思っております。

上野 そうですね。これからの国際交流のあり方、進め方は、いろいろな考え方があると思います。ここで経済界の代表、鹿児島商工会議所会頭の岩崎福三さんに、今後のマイアミ市との交流に寄せる期待を伺っております。

岩崎 マイアミ市からは、学術、

西吉さん



文化、それから観光も含めた経済など、学ぶべきことはたくさんありますよ。いわゆる南に開かれた都市づくりをするには、交流を盛んに、そして貿易も活発にしていることが、今後の鹿児島市の課題でしょうね。

●構えない国際交流のすすめ

上野 都市と都市の交流から、大きな交流へ。中澤さんは、これからの国際交流についてはどのようなお考えですか。

中澤 国際交流は、やはり市民レベルでやるべきだと思います。姉妹都市交流を通じて、お互いの歴史、文化、習慣などを市民の方々が体験できることは良いことだと思います。

上野 西吉さんは、八月にオーストラリアのパース市でホームステイを経験されましたが、いかがでしたか。

西吉 ダンスパーティーなどは楽しい思い出として一番心に残っています。もし、鹿児島市に来たらぜひ桜島に連れて行ってあげたいです。そして、鹿児島のことをいろいろと教えたいと思います。

上野 浜田さんは、ホームステイを経験する中で、外国人の方を受け入れるときには、どのような心

楠元さん



構えて望んでいますか。

浜田 そうですね。病気や食事など安全面に気を付けています。そして、たしかに言葉の壁もありませんが、あまり肩肘張らず考えないように心掛けています。

上野 楠元さんは、海外で生活された経験がありますが、文化の違いを理解するのは難しいですか。

楠元 えー。鹿児島市はナポリ市と姉妹都市盟約を結んでいますね。特に、イタリアはラテン民族の中でも、随分のんびりしたところなんです。ですから、日本の感覚で考えますと、全く受け入れられないこともあります。文化の違いは、難しい面があると思います。

上野 なるほど。そうしますと、やはり相手のことを良く知るといいうことが大切ですね。

今日の四人の方は、それぞれ自分の身近なところで国際交流を体験されているわけですが、井形さん、皆さんのお話を伺っていかがですか。

井形 皆さん、前向きのご意見を持っているとします。本当に、「国際化」しますと、外国人は意識しませんから。マイアミトラムカーなどの雰囲気は、その典型的なものでしょう。市民全体が、参加した実り大きい国際交流であって欲しいと思います。

上野 市長さん、これからは市民の皆さんと一緒に、国際交流を進めていきたいですね。

市長 そうですね。姉妹都市交流あるいは国際交流をドラマにたとえますと、「原作は鹿児島市、そして脚本と出演は市民」と言えます。

行政が糸口をつくっていく、実際の交流は市民自身が大きな輪を広げていくことが一番大切です。このことが、本当の国際交流と言えるのではないのでしょうか。

上野 今日は、マイアミ市との姉妹都市盟約を記念して、これからの国際交流について考えてみました。皆さんも自分自身の国際交流を進めてみてください。

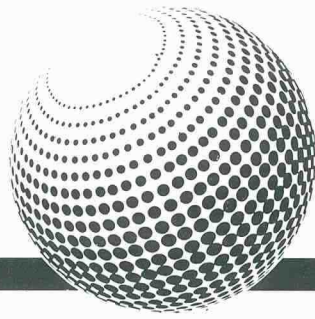
上野さん



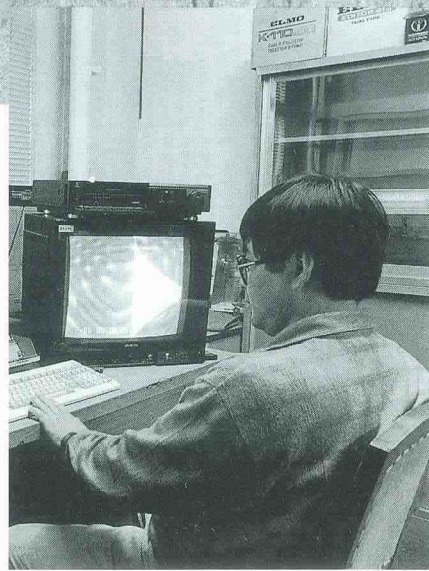


# 八口一鹿児島

キム ソク チョン  
金 碩 鍾さん (韓国)



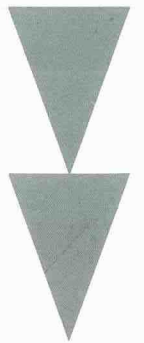
# HELLO KAGOSHIMA



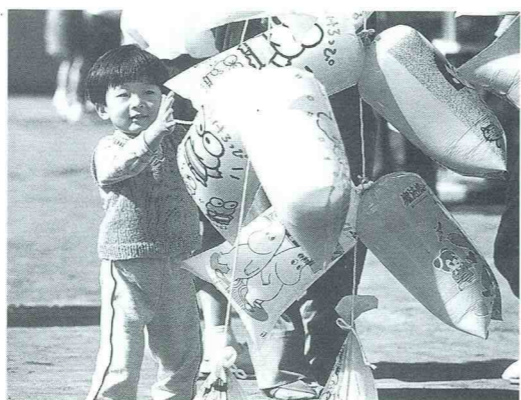
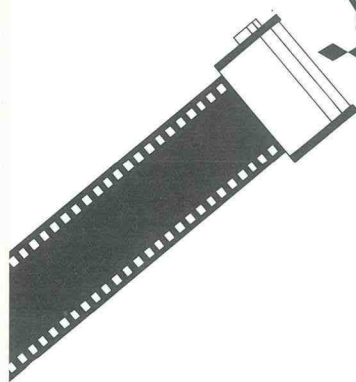
潮のかおりが漂う鹿児島大学水産学部漁具学講座の研究室を訪れると、「学生たちは敬遠しますが」と微笑みながら高麗人参茶をふるまってくれる。甘いようで苦みのきいた、不思議になつかしい味だ。大学院では、魚をとる網の研究に励んでいる。効果的に魚がとれるよう、自然現象と併せて、解明していく。理論中心の韓国に対して、日本は実践中心なので、学ぶことは多いという。



韓国といえば肉料理のイメージが強いが、魚も日本とほとんど同じように食べるそうだ。韓国に行ったら、是非、豊かな食文化にふれてほしいという。「とても人間味にあふれていますから」。現在、留学生会の会長もつとめているので、多忙な毎日である。十九カ国、百人余りの人々が、国別、更に個人別に、考え方が違う。お互いにわかりあうには、まず、心を開いて話し合わなければならない。一番大切なのは「人間は同じだ」と思うこと。差別意識を持つていては活動できないという。鹿児島も国際都市として発展するには「お互いを思いやる心を忘れずに」。胸に響く言葉である。忙しい中での健康法は、毎朝夕かさないテニスと、気に入った温泉に通うこと。鹿児島は、どこに行っても緑があるので心が和むという。神からもらったすばらしい自然だ、と。鹿児島弁も自在な、鹿児島島の温かい理解者である。







## 秋の木市

秋の木市は、昨年も十月十五日から十一月十五日まで、甲突川河畔の市民広場で行われました。

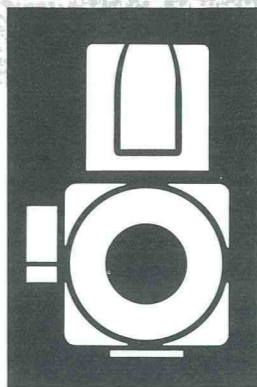
大小の植木や果樹、華麗な花、可愛い小鳥などの即売に、大勢の人で大変なにぎわいをみせる鹿児島市の風物詩です。

買う人の顔も、売る人の顔も

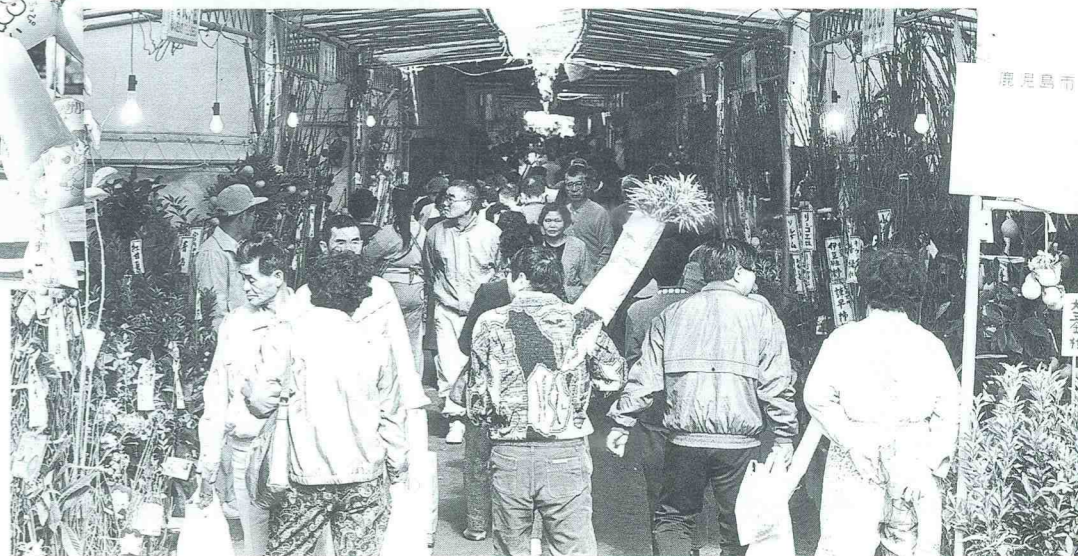
自然を愛する表情でいっぱいでした。

子供たちが、綿あめを手にした楽しげな姿も印象的でした。

写真と文/鮫島 孝



## あなたのフォトサロン



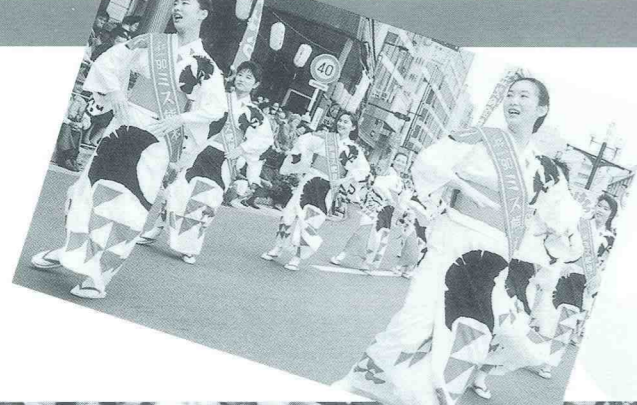
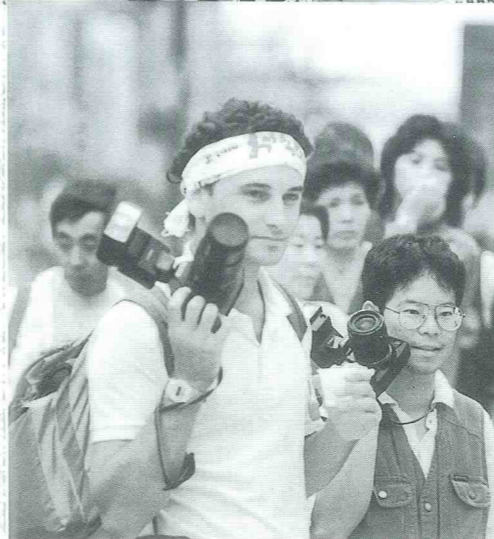


# おはら祭

昨年の十一月二日(夜祭り)と三日、  
鹿児島市の秋を彩る九州最大の秋祭り  
第三十九回「おはら祭」が盛大に開催さ  
れました。

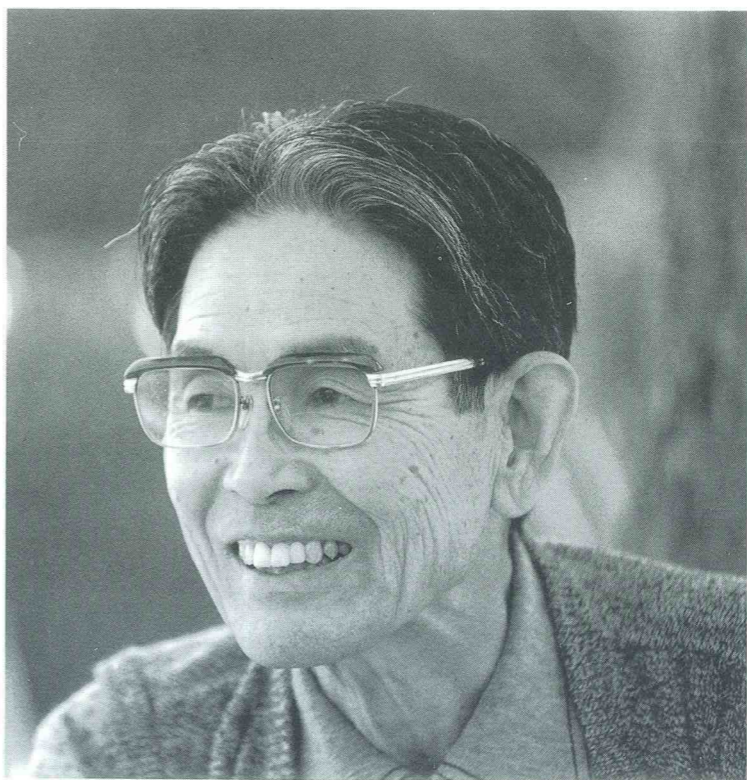
参加した踊り連は、過去最高の二百  
四十七連(二万二千七百七十一人)で

「おはら節」や「ハンヤ節」の軽快なリズムに  
合わせて踊りを楽しみました。  
また、沿道も五十九万人という大勢  
の人出でにぎわいました。





# 散歩道



国際化を自覚できる  
日本の女性に  
なってもらいたい

鹿児島純心女子短期大学教授

芳 即 正

紫原は、島津氏が鹿児島支配の基礎を築いた戦いのあったところで、西南戦争のときも、西郷軍と政府軍が戦った場所でもあるんですよ。

ここに住んで二十年位になりましたが、当時は、近くに病院が一軒あるだけで、周囲は原っぱばかりも畑でしたよ。

鹿児島では珍しく起伏の少ない台地だったせいか、市内で最初に団地の開発が行われ、今では、市

内でも有数の大型団地になってしまつて、昔の面影はないですね。

家の前にむらさき公園があるので散歩を楽しんでいます、公園が近くにあるのはいいですね。

町内のまとまりもよく、夏まつりなど非常に盛んですよ。



日之出町から田上町へ抜けるこの通り沿いには、けやきや桜の並木が続き、今では紫原のシンボルのようになっていますね。

四季折々にいろんな表情をみせてくれますよ。

特に、春には道の両側に桜が開き、ほんとうにきれいです。桜まつりも行われますが盛大ですよ。

紫原小学校のあたりは、昭和十二年から三十三年まで県の甘藷試験地がありました。

ここで、さつまいもの品種改良が行われ、農林二号など全国に普及していったんです。

戦争の前後を通じて、食糧難を救い、でん粉加工や農家の経営向上に大きく役立ったんですね。

このあたりに以前は一本桜があったんです。戦前は軍隊が演習で目標にしたらしいですよ。

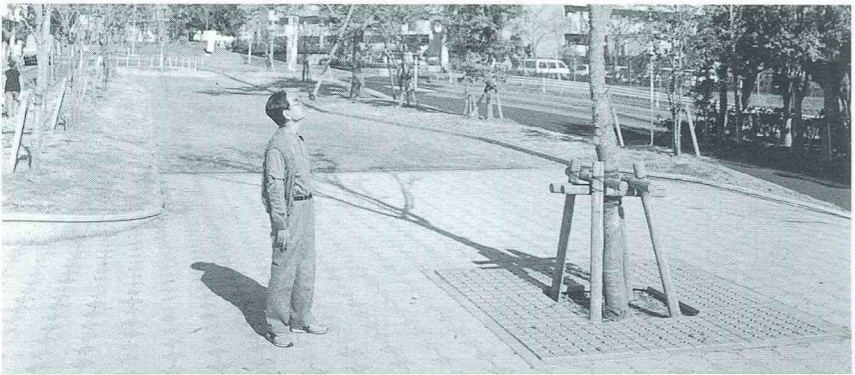
高圧線の鉄塔沿いに、新しく公園が整備され、気持ち良く散歩できようになりました。

郡元墓地には、明治時代に総理大臣や大蔵大臣を務めた松方正義の両親の墓もあるんですが、あまり知られていませんね。  
大正年間に、南林寺墓地から改葬されたのですが、薩摩藩ゆか

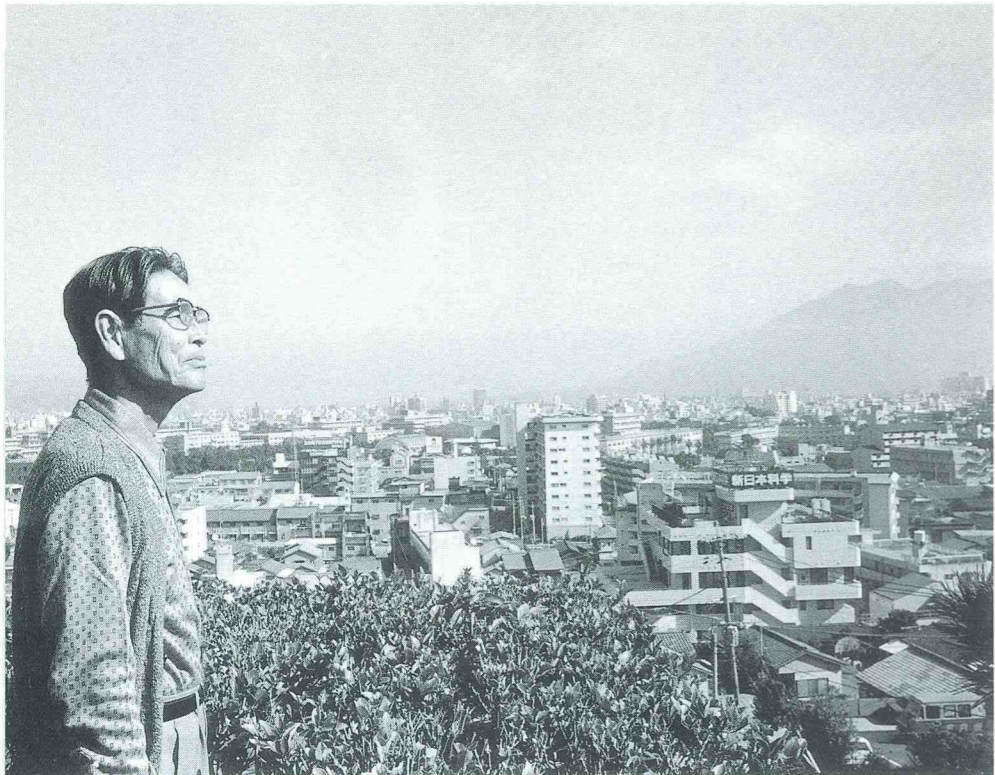
りの人たちの墓もいくつかありますよ。  
短大からの市街地の眺めは最高ですね。  
短大では日本史を教えています。今の学生はよく勉強しますよ。彼女たちには、今後国際化がどんどん進んでいくので、日本の女性としてそれを自覚しながら努力してほしいですね。



紫原甘藷試験地 (昭和26年)

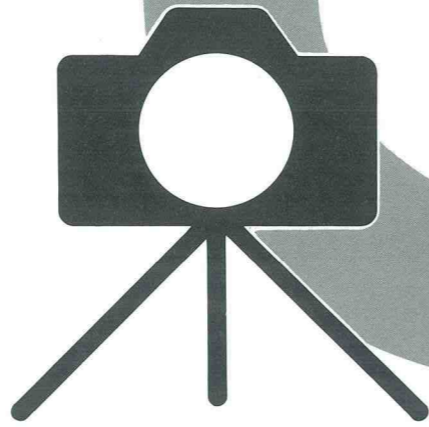


●取材メモ  
市教育委員会の指導課長、市立女子高校・玉龍高校校長、県立図書館長、県立短大教授を経て、昭和五十六年から現職に。七十五歳。  
テンポの早い歩き方は、年齢を感じさせない。  
健康の秘訣は、よく歩くこと。学校への通勤は、往復三十分を歩く。  
また、朝食は、焼きいもを主食に、三年ぐらい続けている。  
旅行が好きで、今夏、奥さんとシルクロードを旅した。広大なスケールには圧倒されたという。  
ここ数年、週一回、ヨーガ教室に通っているとのこと。  
現在、薩摩藩近世末期の研究に取り組んでいる。  
静かな語り口から、研究者らしい人柄がしのばれた。





# カメラトピックス

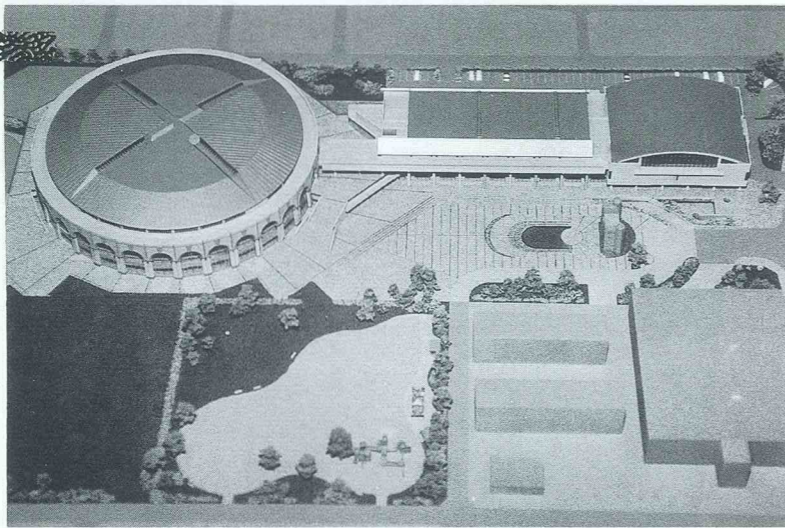


## ● 9月13日・赤崎市長が長寿者を表敬訪問

「長生きの秘けつは、くよくよせず楽しく人生を生きること」。9月15日の敬老の日を前に赤崎市長が市内宇宿3丁目の瀬角岩次郎さん(左)、スメさん(右)夫妻を訪問。お祝い状の額や記念品を手渡し、長寿を祝いました。

## ● 11月20日・「市民スポーツセンター(仮称)起工式」

本市が市制100周年記念事業の一つとして建設する、「市民スポーツセンター(仮称)」の起工式が永吉町の刑務所跡地で行われました。同センターは6千人の観客を収容できるメインアリーナを核に、武道館、サブアリーナから成り、完成は平成4年10月の予定です。



## ● 9月16日・「頑張れ！」全力のプレーに熱い声援

身体障害者の体力維持と親睦を目的に、第24回鹿児島市身体障害者体育大会が県立鴨池陸上競技場で開かれました。青空のもと市内各地の身体障害者協会や養護学校から参加した204人は、ハンディキャップをもともしないプレーを展開、ひと足早いスポーツの秋を楽しんでいました。



## ● 10月1日・名山小の児童が、メロニーさんを訪問

9月17日の交流会(アメリカの小学生の寸劇紹介)のお礼にと、名山小の児童らが、市の国際交流アドバイザーとして活躍しているメロニー・リンドバーグさんを訪問。メロニーさんにお礼の手紙や折りづる、花鉢などを贈り、交流を深めました。

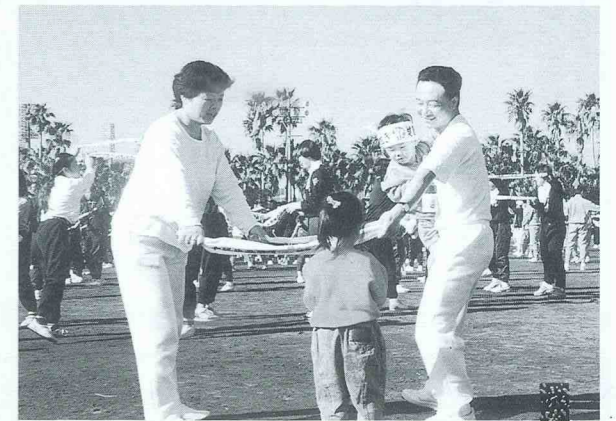
## ● 10月22日・長沙市の医師、市長を表敬訪問

鹿児島大学歯学部視察と研修のため、平成3年1月まで市に滞在予定の、長沙市湘南医科大学口腔外科助教授の沈子華さんが市長を表敬訪問。日本語の勉強に役立ててとラジオを贈られた沈さんは、「学術の交流を通じて両市の友好のきずながより一層深まることになればうれしいです」とあいさつしました。



## ● 11月21日・ミス鹿児島島の冬服披露

南国の暖かさをイメージさせる白を基調とした冬の制服に身をつつんだミス鹿児島島の3人。そのエレガントなコスチュームとさわやかな笑顔で、観光鹿児島島のPRに大いに活躍してくれることでしょう。



## ● 11月23日・「市民生き生き健康フェスティバル」開催

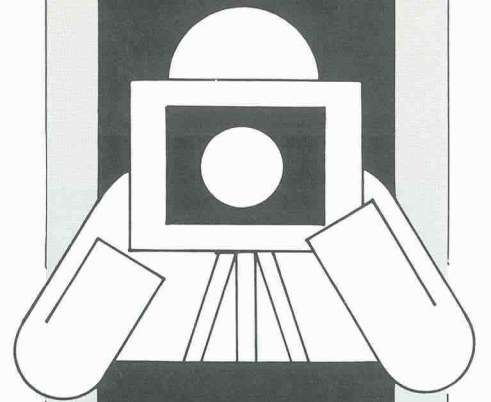
さわやかな秋空のもと、「第5回市民生き生き健康フェスティバル」が県立鴨池補助競技場で行われ、大勢の家族づれなどが健康体操やジョギングに挑戦、体力づくりに励みました。また、午後からは「ふれあいリレーカーニバル」が開かれ、家族らの声援を受けた参加者らは、そう快な汗を流していました。

## ● 10月27日・姉妹都市盟約を記念し「マイアミトラムカー」を運行

市交通局がマイアミ市との姉妹都市盟約を記念して、「マイアミトラムカー」を運行。両国の国旗やマイアミ市を紹介するポスター等で飾られた二両連接の電車は、おはら祭初日の11月2日まで祭り気分を盛り上げ、市民の目を楽ませてくださいました。

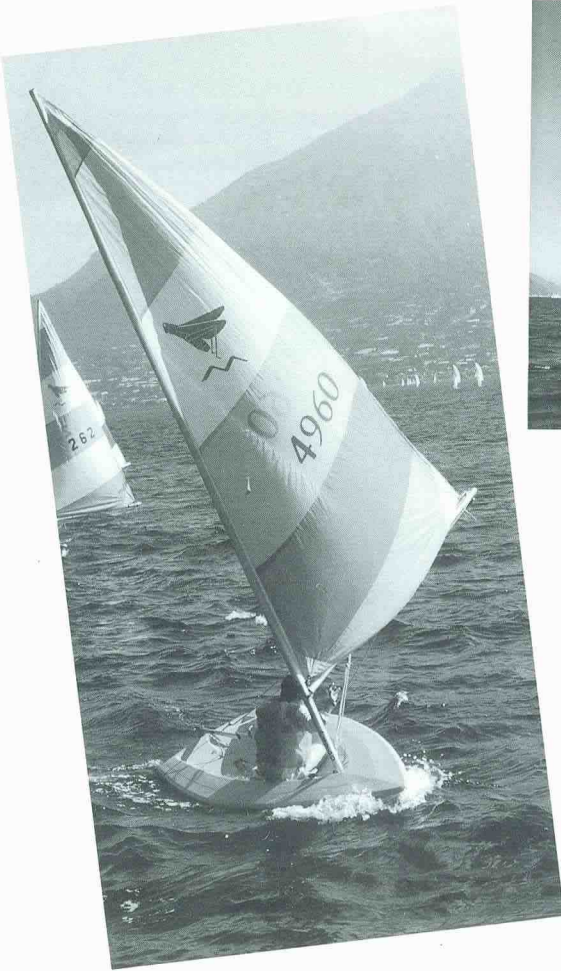






# カメラ ウォッチング

## 火山めぐりヨットレース



### 編集後記

▼新年あけましておめでとう  
ございます。

新しい年を迎え、皆様には  
今年の夢に思いを馳せておら  
れるのではないのでしょうか。

▼さて、昨年は大河ドラマ  
「翔ぶが如く」が放映され、  
鹿児島を全国の皆さんに知っ  
ていただく絶好の機会になり  
ました。

一方、市政においては、待  
望久しかった図書館・科学館  
が開館したほか、市民スポー  
ツセンター（仮称）の建設等  
大型プロジェクトにも着工し  
ました。

▼また、四番目の姉妹友好都  
市として、アメリカのマイア  
ミ市と盟約を結び交流を深め  
ましたが、本号では盟約調印  
式の模様やマイアミ市の概要  
をご紹介します。

▼ところで、今年は二十一世  
紀へ継ぐ新たなまちづくり計  
画がスタートする意義ある年  
です。昨年十二月に「潤いと  
活気に満ちた南の拠点都市・  
鹿児島」を都市像とする第三  
次総合計画案が市議会に提案  
されましたが、この決定を  
待って市民の皆様のご協力を  
いただきながら計画実現に努  
めてまいります。

▼今年一年、皆様のご多幸を  
お祈りいたします。





## 「富士(吉田より)」(1933年)

サイズ(72.8cm×91.0cm)油彩・キャンバス

和田英作(1874~1959)

〈作者〉明治7年(1874)、垂水市に生まれる。5歳の時、家族とともに上京。少年時代から画家を志し、曾山幸彦などの指導を受ける。

明治29年(1896)、黒田清輝の招請で、東京美術学校助教となり、昭和11年(1936)、に同校の学校長を退くまで、永年にわたって後進の指導にあたった。また一方、白馬会、文展、帝

展、日展などを舞台に、多くの作品を発表し、格調高く写実的で、穏健な画風で広く知られている。

黒田清輝、藤島武二と並んで、郷土が生んだ日本近代洋画の三巨匠として、あまりにも有名である。



市立美術館

学芸員 赤崎年幸



〈解説〉昭和八年(一九三三)

当時、東京美術学校校長として敏腕をふるう一方、作画活動も脂の乗りきった円熟期の作品である。

冬の富士を真正面に据えて、雪をかぶった野と、それに続く森が堂々たる構図で描かれている。和田の達者な筆さばきと格調高い色彩は、名峰富士の荘厳さをみごとにとらえており、冴えた冷気と、凛と張りつめた空気の緊張感が、画面から伝わってくる。

壮麗な山容を抱く雪の色は、どこまでも清浄で、和田の精神世界を象徴するかのよう<sup>せむひつ</sup>に静謐な画面を創りあげている。

和田は終生富士を描き続けているが、この吉田より望む構図も何点かあり、晩年は富士を描くために静岡の清水市に居を移したほどである。



# 知的感動、星の数。

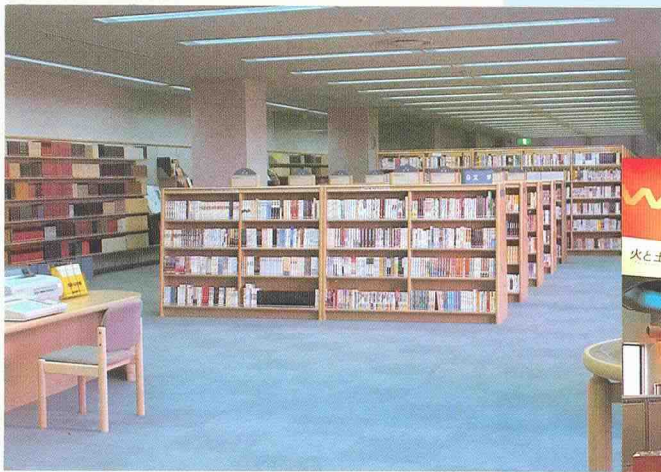


## 鹿児島市立 図書館・科学館

科学館シンボルマーク・愛称



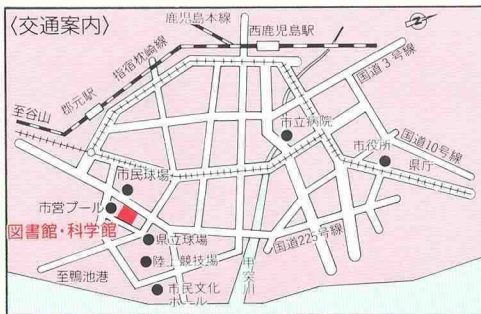
夢、広がる。知、深まる。



一般開架コーナー



科学展示「火と土」のコーナー



〈問い合わせ〉  
鹿児島市立 図書館 ☎0992(50)8500  
鹿児島市立 科学館 ☎0992(50)8511

